



問 秘書課広報統計係 ☎95-9867

市民の皆さんの声をこれからの市政に生かし、碧南市をより住み良いまちにするために、小池市長と未来に向けておしゃべりしませんか？

今年度はおしゃべり会をリニューアルし、市長が選んだテーマを基に、おしゃべり会を開催します。テーマについての考えや感じていることなど、自由におしゃべりしましょう。なお、おしゃべり会の内容は、開催後ホームページで公開します。

時 8月6日(休) ①10時～11時②19時～20時、8月23日(土) ③10時～11時④19時～20時

所 ①②藤井達吉現代美術館、③④へきなん福祉センターあいくる

テーマ ①④防災対策（危機管理）、②③防災対策（自助・共助）

対 市内在住・在勤・在学のいずれかの人

定 20人（先着順）

申 7月1日(火)～31日(木)に碧南市電子申請・届出システム又は申込書（秘書課窓口又はホームページで入手）をメール（✉hishoka@city.hekinan.lg.jp）又は直接

他 ・同一のテーマで参加できるのは1回まで
・次回以降はテーマ、開催日が決まり次第、広報紙又はホームページで周知



市長コラム



衣浦港は未来への玄関口

—衣浦港を門戸として、広く世界に目を開き、あたたかく明るい郷土「碧南」をつくるため、わたくしたちは自治の約束として、この憲章を掲げます。—

これは碧南市民憲章の序章です。この衣浦港は、知多半島と西三河地区に囲まれた南北約20kmの細長い形状の港で、碧南市、半田市、刈谷市、西尾市、高浜市、東浦町、美浜町、武豊町にまたがっており、1957年5月20日に重要港湾の指定を受けてから臨海工業用地を造成したことで発展を続けています。

碧南市臨海部では、約240の事業所が進出し、その中の国内最大級の石炭火力発電所では、2050年の脱炭素化に向けてアンモニアを発電燃料に転換することにより、CO2を排出しない「ゼロエミッション火力」に取り組んでいます。また、衣浦港ではアンモニアサプライチェーン構築により、カーボンニュートラルポートとして、未来に向けて更なる発展が期待されています。

私自身も、市長として港湾関連の協議会や同盟会などの役職をいただき、国や県への要望活動などを行い、今年度は多くの皆様とともに活動してきた結果、中央航路が拡幅され、国際物流ターミナルの老朽化対策などが進められています。

また、衣浦港港湾計画には、碧南火力発電所沖に112.8haの外港地区が位置付けられています。新たなふ頭や耐震強化岸壁の整備により、船舶の大型化に対応でき、貨物の移転や集約化が可能となり、さらにその移転跡地を活用することで、用地の創出や新規貨物への対応も可能となります。衣浦港全体の物流機能の強化を図るとともに、耐震強化岸壁を整備することで防災力の強化も図ることができるとあり、早期実現を目指していきます。

7月24、25日には全国市長会第69回港湾都市協議会総会が、碧南市で開催されます。世界初の大規模なアンモニア混焼実証実験を行ったJERAの碧南火力発電所などの視察を予定しており、全国の港湾都市の皆様は、脱炭素化を進める重要港湾、衣浦港をしっかりと視察していただきます。この機会を活かして碧南市をしっかりとPRし、更なる知名度アップにも努めてまいります。皆さんもぜひ碧南市のワクワクするこれらにご期待ください！



市長メッセージ動画も配信中！

